

土砂災害とは

大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりすることによって私たちの命や財産などが脅かされる、自然の災害です。

土砂災害の種類

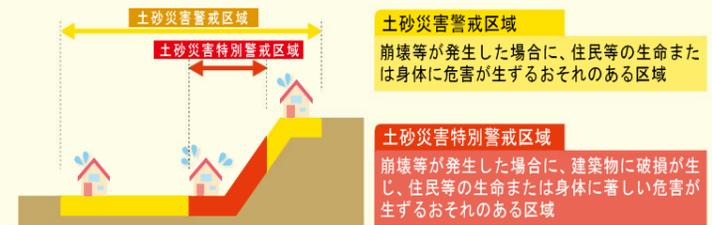
一般的に土砂災害というと「土石流」や「地すべり」、「がけ崩れ」を言い、雨の降り方が深く関わっています。発生原因や心ごえが異なりますので違いをよく理解しましょう。

<h3>土石流</h3> 	<h3>地すべり</h3> 	<h3>がけ崩れ</h3> 
<p>土石流とは…?</p> <p>土石流とは、谷や斜面に溜まった土・石・砂などが、大雨による水とともに一気に流れ出す現象。スピードが速く、破壊力も大きいので、広範囲に大きな被害が出ます。</p>	<p>地すべりとは…?</p> <p>地滑りとは、比較的ゆるやかな斜面で地中の粘土層などがゆっくりと動き出す現象。一度に広範囲で発生するので、住宅や道路などに大きな被害が出ます。</p>	<p>がけ崩れとは…?</p> <p>がけ崩れとは、地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで被害が大きくなります。</p>
<p>こんな時は注意しましょう!</p> <ul style="list-style-type: none"> 山鳴りがする 川の流れが濁り流木が混じりはじめる 雨が降り続けているのに川の水位が下がる 腐った土の臭いがする 	<p>こんな時は注意しましょう!</p> <ul style="list-style-type: none"> 沢や井戸の水が濁る 地面にひび割れができる 斜面から水がふき出す 家や擁壁に亀裂が入る 家や擁壁、樹木や電柱が傾く 	<p>こんな時は注意しましょう!</p> <ul style="list-style-type: none"> がけに割れ目が見える がけから水が沸き出ている がけから小石がパラパラと落ちてくる がけから木の根が切れる音がする

土砂災害防止法

土砂災害は毎年のように全国各地で発生しており、私たちの暮らしに大きな影響を与えています。土砂災害防止法とは、土砂災害(がけ崩れ)から国民の生命・身体を守るために、土砂災害が発生するおそれがある区域を明らかにし、危険の周知、警戒避難体制の整備、一定の開発の制限による住宅などの新規立地の抑制などの対策を推進するための法律です。

土砂災害(特別)警戒区域とは

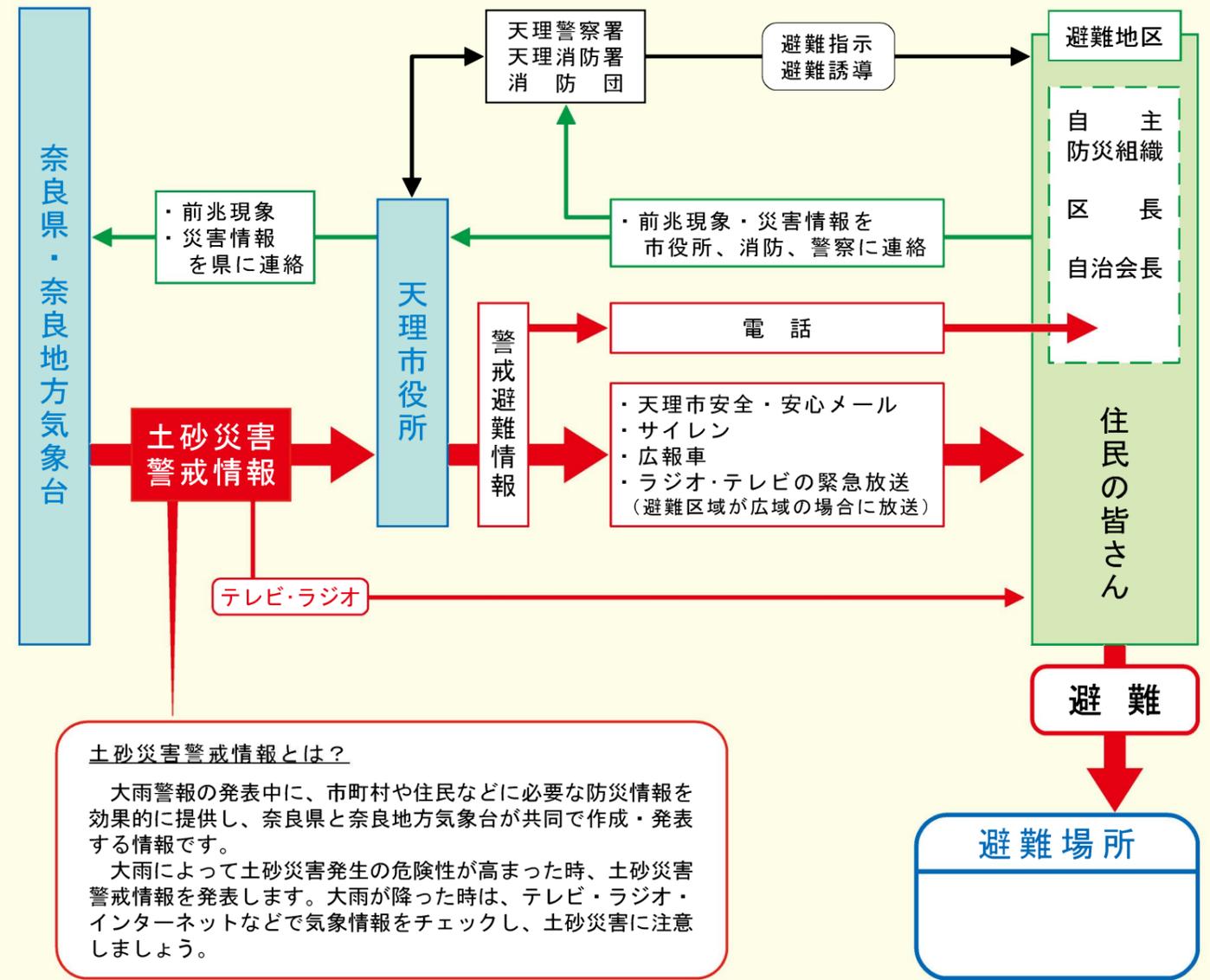


雨の降り方と想定される被害

予報用語	1時間雨量	人の受けるイメージ	屋外の様子	災害発生状況
やや強い雨	10mm以上 20mm未満	ザーザーと降る	地面一面に水たまりができる	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要
強い雨	20mm以上 30mm未満	どしゃ降り		側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる
激しい雨	30mm以上 50mm未満	バケツをひっくり返したように降る	道路が川のようになる	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険な地域では避難の準備が必要 都市では下水管から雨水があふれる
非常に激しい雨	50mm以上 80mm未満	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある マンホールから水が噴出する 土石流が起こりやすい 多くの災害が発生する
猛烈な雨	80mm以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる		雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、嚴重な警戒が必要

避難情報

緊急度	避難情報	発令時の状況	皆さんにお願いする行動
低	準備避難情報	お年寄りや体の不自由な方など、特に避難行動に時間を要する方が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況	お年寄りや体の不自由な方など、特に避難行動に時間を要する方は、計画された避難場所への避難行動を開始
	避難勧告	通常の避難行動ができる方が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況	市から避難勧告が発令された場合は、避難準備の終わった方から避難場所へ避難を開始してください。避難勧告は命令ではありませんが生命などを災害から守るため市長が特に必要と認める地域に避難をすすめるものです。
	避難指示	前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 人的被害が発生した状況	避難指示が発令された場合は、危険が迫っているため、その地域の方は、避難場所に直ちに避難を開始してください。
高			



災害用伝言ダイヤル

大規模な災害が発生して電話がつながりにくいときは、安否の確認や連絡用に利用できる「災害用伝言ダイヤル171」を活用しましょう。

災害用伝言ダイヤル171の使い方

171 → 伝言を録音する時は 1 → (●●●●) ■■■-■■■■ → 伝言を吹き込む
被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号を、市外局番から入力

171 → 伝言を再生する時は 2 → (●●●●) ■■■-■■■■ → 伝言を聞く

わが家の防災メモ

家族で話し合ってからあらかじめ記入し、家族みんながわかる場所に置いておきましょう。

■ 家族の連絡先

家族の名前	連絡先(勤務先・学校)	電話	携帯電話	血液型
				型
				型
				型
				型
				型